

就職活動状況 2015年7月

2016年卒業の就職意向学生を対象に実施している「就職活動プロセス調査」の結果から、「就職内定取得者」と「就職活動実施者」の実態をご報告いたします。

REPORT 1 7月1日時点の就職内定取得者(49.6%)の実態

- 内定取得企業へ「入社したい」と考えている学生は43.0%。(⇒P2)
 - 進路確定先は、「情報サービス・調査業」「1000人～4999人規模」が多い。(⇒P3・4)
 - 内定取得後も就職活動を継続している学生が69.5%。(⇒P3)
- 前年同水準の内定率の時と比較すると、21.0ポイント高い活動率であった。(⇒P5)

《コンテンツ》

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 【1】 文・理/地域別に見た就職内定率 | 【5】 進路確定先の企業規模 |
| 【2】 内定取得者の内定取得社数 | 【6】 進路確定先の業種 |
| 【3】 内定取得企業への入社意向度 | 【7】 内定取得者コメント抜粋 |
| 【4】 内定取得者の就職活動の実施率 | <参考> 前年調査との比較 |



REPORT 2 7月1日時点の就職活動実施者(81.5%)の実態

- 6月中に「面接などの選考の受検」を行った学生は65.7%。(⇒P6)
- 前月の調査では「100～299人規模」を志望する学生が最も多かったが、「1000人～4999人規模」(30.1%)を志望する学生が最も高い割合となった。(⇒P8)
- 就職活動が占める時間割合は、5月中に比べ減少した。(⇒P9)

《コンテンツ》

- | | |
|---------------------|--------------------------|
| 【1】 文・理/地域別に見た就職活動率 | 【4】 学生の志望状況 … 職種/業種/企業規模 |
| 【2】 就職活動の内容/量 | 【5】 学生の志望状況の変化 |
| 【3】 キャンセルや辞退の状況 | 【6】 学業・就職活動・プライベートが占める時間 |
| | 【7】 就職活動への気持ちの高まり(コメント) |

※ 本資料内の用語や調査概要などは、『「2015年7月度 就職内定状況(2016年卒)」【確報版】』をご参照ください。

REPORT ① 7月1日時点の就職内定取得者(49.6%)の実態

【1】文・理/地域別に見た就職内定率

- 選考開始の8月1日の1か月前の時点(7月1日)で、就職志望者の内定率は49.6%となった。
- 属性で見ると、全体より2ポイント以上高かったのは、「理系」「関東」であった。
- 前月調査からのポイントの差分(内定率の上昇分)は、「近畿」「その他(地域)」で大きかった。

		7月1日時点 (%)	6月1日時点 (%)	7月-6月の差分 (ポイント)
就職志望者全体		49.6	34.5	15.1
文理別	文系	48.3	33.3	15.0
	理系	52.4	36.8	15.6
地域別	関東	54.1	42.7	11.4
	中部	46.7	34.0	12.7
	近畿	46.5	26.0	20.5
	その他	46.3	29.0	17.3

【2】就職内定取得者の内定取得社数

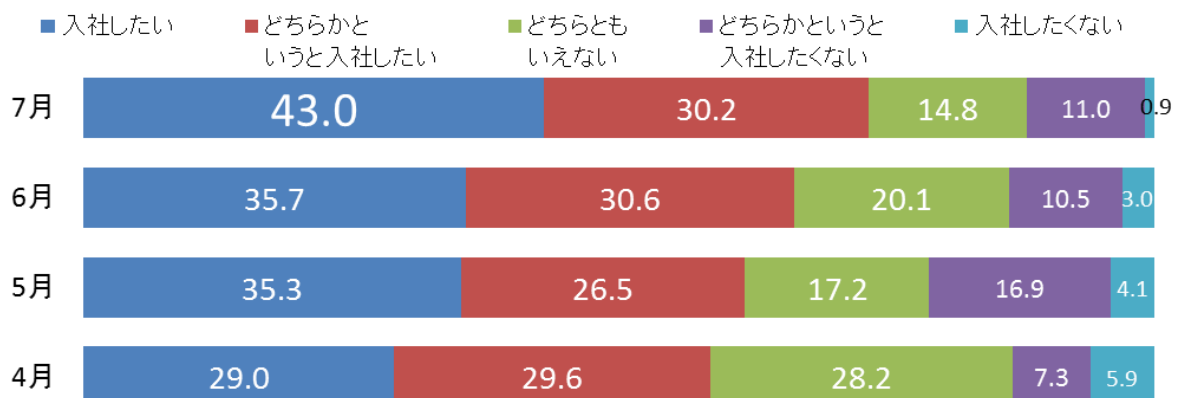
- 内定取得者の、7月1日時点までに「取得した」内々定・内定数は平均1.89社であった。
- 内定取得者全体に比べ「関東」が0.13社多く、「中部」が0.26社少なかった。

		7月1日時点までに 「取得した」内々定・内定数
内定取得者 全体		1.89社
文理別	文系	1.91社
	理系	1.85社
地域別	関東	2.02社
	中部	1.63社
	近畿	1.84社
	その他	1.85社

※就職志望者・内定取得者ベース

【3】内定取得企業への入社意向度

- 内定取得企業への入社意向は、「入社したい」(43.0%)が6月1日に比して7.3ポイント増加している。



※4月・5月・6月・7月はいずれも1日時点

REPORT 1 7月1日時点の就職内定取得者(49.6%)の実態

【4】就職内定取得者の就職活動の実施率

- 内定取得者全体の、就職活動実施率は69.5%であった。
属性別では、文・理系で差が大きかった。
 - 6月1日時点との差分を見ると、内定取得者全体の実施率は9.6ポイント低下した。
属性別では「理系」「関東」「中部」で、10ポイント以上低下した。
 - 内定取得企業への入社意向度別に見ると、7月1日時点で「入社したい」企業からの内定を保有している学生の就職活動実施率は38.5%であった。
- ※ 内定未取得者を含む全体の活動率は、「REPORT 2」をご参照ください。

■就職活動 実施率		7月1日 時点(%)	6月1日 時点(%)	7月-6月の 差分 (ポイント)
内定取得者 全体		69.5	79.1	-9.6
文理別	文系	74.9	80.4	-5.5
	理系	59.0	76.8	-17.8
地域別	関東	64.1	77.6	-13.5
	中部	69.5	82.5	-13.0
	近畿	74.5	81.7	-7.2
	その他	76.5	77.6	-1.1
内定取得 企業への 入社意向度別 <small>※7月1日時点で1社 以上内定を保有して いる人ベース</small>	入社したい	38.5	47.1	-8.6
	どちらかという と入社したい	88.2	91.6	-3.4
	上記以外の学生 (どちらとも言えない /どちらかという と入社したくない/ 入社したくない)	95.6	98.4	-2.8

【5】進路確定先の企業規模

- 内定取得者(49.6%)のうち、卒業後の進路が確定していると回答した学生は56.8%(就職志望者全体の28.2%)であった。以下はその中で「民間企業に就職先が確定した」と回答した学生に確定先企業の規模を聞いた結果である。
- 進路確定先の企業規模は、「1000人～4999人」がもっとも多く29.0%、次いで「500～999人」が21.3%となった。
- 6月1日時点と比較すると、「5000人以上」「1000人～4999人」は2ポイント以上シェアが増加し、「100人～299人」「300人～499人」は2ポイント以上の減少となった。

■確定者確定先規模 (%)		50人未満	50人～ 99人	100人～ 299人	300人～ 499人	500人～ 999人	1000人～ 4999人	5000人 以上
確定者全体	7月1日時点	6.1	7.6	12.6	9.1	21.3	29.0	14.3
	6月1日時点	4.4	7.8	18.6	11.4	20.5	26.6	10.7
差分(ポイント)		1.7	-0.2	-6.0	-2.3	0.8	2.4	3.6

REPORT ① 7月1日時点の就職内定取得者(49.6%)の実態

【6】進路確定先の業種

- 下表は、【5】と同様に「民間企業に就職先が確定した」と回答した学生に、確定先企業の業種を聞いた結果で、その上位10業種を掲載した。
- 進路確定先の業種は、文・理系ともに、「情報サービス・調査業(ソフトウェア・情報処理等)」である学生が最も多かった。
- 6月1日時点との比較を見ると伸び(差分)が大きいのは、文系では「情報サービス・調査業(ソフトウェア・情報処理等)」、理系では「建設・工事業」「食品」であった。

※ 就職志望者の志望業種については「REPORT 2」をご参照ください。

《文系》 ※確定先業種の 割合による降順 (10位まで)	確定者の 確定先業種(%)		差分 (ポイント)
	7月1日 時点	6月1日 時点	
情報サービス・調査業 (ソフトウェア・情報処理等)	18.0	14.4	3.6
商社	6.5	8.2	-1.7
百貨店・スーパー・コンビニ・ DIY・生活協同組合	6.5	11.4	-4.9
専門店	5.5	4.6	0.9
不動産	5.3	5.6	-0.3
機械・プラント・ エンジニアリング	3.6	2.0	1.6
通信	3.5	0.9	2.6
生命保険・損害保険	3.4	1.3	2.1
医療・福祉	3.3	3.8	-0.5
人材関連(派遣・斡旋等)	3.1	5.3	-2.2

《理系》 ※確定先業種の 割合による降順 (10位まで)	確定者の 確定先業種(%)		差分 (ポイント)
	7月1日 時点	6月1日 時点	
情報サービス・調査業 (ソフトウェア・情報処理等)	25.1	23.7	1.4
建設・工事業	11.9	6.2	5.7
食品	7.8	3.3	4.5
自動車・鉄道・航空機等 製造・同部品製造	7.8	7.5	0.3
医療・福祉	6.8	4.8	2.0
機械・プラント・ エンジニアリング	5.3	7.5	-2.2
電機・電子・OA関連・精密機 器	5.1	2.5	2.6
専門サービス業(法律事務 所・税務事務所等)	4.1	3.1	1.0
インターネット 付随サービス業	3.6	5.0	-1.4
百貨店・スーパー・コンビニ・ DIY・生活協同組合	2.2	3.0	-0.8

※ 確定先は10%以上のものを太字、差分は+3ポイント以上は赤字・網掛け、-3ポイント以下は青字・網掛けとした。

REPORT ① 7月1日時点の就職内定取得者(49.6%)の実態

【7】内定取得者コメント抜粋

- 長期になるととてもつらいが、内々定を取得すると自分が認められたようで嬉しくなる。(関東、文系)
- これから大手の選考が始まるが、実際に行きたい企業なのか謎。(関東、理系)
- 内定を頂いても、本当にその会社に進んで良いのか悩むようになった。(関東、文系)
- 冬の院試の可能性も考えている。(関東、理系)
- 自分のやりたいことはまだまだよくわからない。(中部、文系)
- 卒業後の進路はまだ未定だが、現在内定を頂いている企業に不満があるわけではなく、ただ出来るだけ後悔が残らないように今一生懸命頑張りたい。(近畿、文系)
- 内定をもらいようやく就職に対して現実感が湧いてきた。本当にそこで働くことになって大丈夫か考えることで、企業選びの軸が見えてきた。でも、もうエントリーを締め切っているところが多く、納得いく所に内定を決められるか不安。(近畿、文系)
- 人生の大きな選択をする上で、自分と向き合い、家族と話し合い、友達との関係を深めることができた。また、さまざまな企業を見て、いろいろな話を聞いて、自分自身が社会を広く見ることができた。(近畿、理系)
- 企業のあり方が素敵だと思っけていても、内定をもらった後に改めて待遇などを調べてみると、給料や休日日数が少なかつたり、少し評判が悪かつたりすることがあるので心配です。(近畿、理系)
- 交通費などの金銭的な理由により、受けることのできない企業があるのが辛い。(九州、文系)

<参考> 前年調査との比較

- 「内定取得者の就職活動実施率」と「調査時点までに取得した内々定・内定数」を、前年調査と比較を行った。2016年卒から就職・採用活動開始時期が変更となったため、「② 前年同時期(2015年卒7月1日時点)」と、「③ 同水準の内定率時(2015年卒5月1日時点)」の2つの時期での比較を下表にまとめた。
- 「② 前年同時期」との比較では、「内定率」は21.7ポイント低く、「内定取得者の就職活動実施率」は47.0ポイント高かった。
- 「③ 同水準の内定率時」との比較では、「内定取得者の就職活動実施率」は21.0ポイント高かった。

	① 2016年卒 7月1日 時点	② 前年同時期 2015年卒 7月1日 時点 ※カッコ内は①-②の差分	③ 同水準の内定率時 2015年卒 5月1日 時点 ※カッコ内は①-③の差分
内定率	49.6%	71.3% (-21.7ポイント)	47.7% (1.9ポイント)
内定取得者の、 就職活動実施率	69.5%	22.5% (47.0ポイント)	48.5% (21.0ポイント)
調査時点までに 「取得した」内々定・内定数	1.89社	1.94社 (-0.05社)	1.79社 (0.1社)

REPORT ② 7月1日時点の就職活動実施者(81.5%)の実態

就職活動 実施者
81.5%

【1】文・理/地域別にみた就職活動率

- 7月1日時点の学生の活動率は81.5%であった。前月と比べると8.9ポイント減少した。
- 属性別で見ると、「理系」「関東」は前月からの減少が大きく、他の属性よりも低かった。

		7月1日時点 就職活動 実施者(%)	6月1日時点 就職活動 実施者(%)	7月-6月差 分(ポイント)
就職志望者全体		81.5	90.4	-8.9
文理別	文系	84.6	91.5	-6.9
	理系	74.9	88.2	-13.3
地域別	関東	77.6	90.0	-12.4
	中部	82.5	91.4	-8.9
	近畿	82.7	91.4	-8.7
	その他	86.9	89.3	-2.4

【2】就職活動の内容/量

- 就職活動実施者が、6月中に行った活動内容を尋ねたところ下表の結果となった。各項目のうち、「情報収集の実施」(68.8%)、「面接などの選考受検」(65.7%)、「適性・筆記試験の受検」(61.9%)は6割以上の学生が実施している。
- 前月の活動との差分を見てみると、ほとんどの活動内容でマイナスの値となっており、各活動内容の実施率は学生全体で下がっている(「実施した」と回答した活動内容の数の一人当たり平均 5月:5.2⇒6月:4.4)。各活動内容で見ると、「エントリー・資料請求」「個別企業説明会参加(対面)」「エントリーシートの提出」は10ポイント以上減少した。

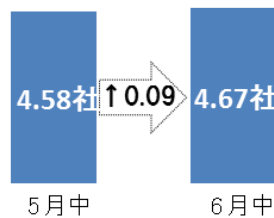
■実施した 就職活動の内容 ※活動を実施した 人の割合(%)		情報 収集 の実 施	社 会 人 へ の 訪 問	リ ク ル ー タ ー と の 接 触	就 職 情 報 サ イ ト 登 録	資 料 請 求 の 実 施	エ ン ト リ ー ・ 推 薦 で 応 募	大 学 や 先 生 の セ ミ ナ ー 参 加	大 学 外 の 説 明 会 ・ セ ミ ナ ー 参 加	個 別 企 業 説 明 会 参 加 (対 面)	個 別 企 業 説 明 会 参 加 (Web 上)	適 性 ・ 筆 記 試 験 の 受 検	エ ン ト リ ー シ ー ト の 提 出	面 接 な ど の 選 考 を 受 検	イン ター ン シ ッ プ へ の 参 加	そ の 他
6月の活動 (7月調査)	活動者全体	68.8	9.9	16.1	11.4	41.1	2.5	12.7	19.6	47.1	11.3	61.9	59.4	65.7	4.6	2.9
	文系	70.5	10.8	18.0	11.4	42.1	1.8	12.9	21.6	50.0	12.2	64.0	62.7	66.1	4.4	3.0
	理系	65.0	7.7	11.9	11.4	39.0	4.0	12.0	15.3	40.8	9.3	57.3	52.4	64.8	5.1	2.7
5月の活動 (6月調査)	活動者全体	77.2	11.1	15.9	11.6	53.3	3.0	18.8	26.1	60.0	17.6	69.8	73.2	70.8	5.1	1.2
	文系	78.2	11.4	16.3	12.9	55.2	2.0	18.7	28.3	62.6	19.8	72.5	75.6	71.7	5.6	1.0
	理系	75.0	10.4	15.1	9.1	49.3	4.9	18.9	21.6	54.7	13.1	64.1	68.1	68.9	4.0	1.5
6月-5月(全体)の差分		-8.4	-1.2	0.2	-0.2	-12.2	-0.5	-6.1	-6.5	-12.9	-6.3	-7.9	-13.8	-5.1	-0.5	1.7

- 活動を実施した人の割合が5割以上の活動内容について、それぞれの平均社数は以下のグラフのようになった。

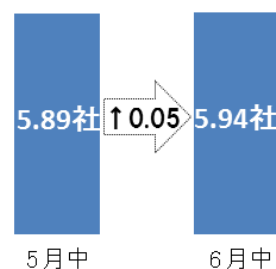
面接などの選考の受検
平均社数



適性・筆記試験などの受検
平均社数



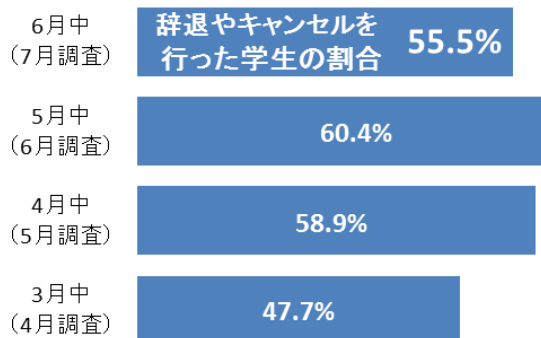
エントリーシートの提出
平均社数



REPORT ② 7月1日時点の就職活動実施者(81.5%)の実態

【3】キャンセルや辞退の状況

- 6月中の就職活動で、キャンセルや辞退を行った学生の割合は55.5%であった。
- キャンセルや辞退を行った内容(複数回答)については、「エントリーシートの提出」「個別企業の説明会(対面)」「面接などの選考」が2割超であった。



■ 辞退やキャンセルをした内容 (%)

※辞退やキャンセルをしたことが有る学生/複数回答

		社会人への訪問	OB・OG、リクルーターとの接触	大学や先生の推薦で応募	大学の説明会・セミナー参加	大学外の説明会・セミナー参加	個別企業説明会参加(対面)	個別企業説明会参加(Web上)	適性検査や筆記試験の受験	エントリーシートなどの書類提出	面接などの選考を受検	インターンシップへの参加
6月中の活動 (7月調査)	全体	2.4	3.4	0.9	2.4	6.2	22.5	3.4	13.0	24.8	22.0	0.3
	文系	2.5	3.9	1.3	2.5	7.2	24.0	3.4	13.9	26.4	21.8	0.2
	理系	2.1	2.2	0.2	2.2	3.8	19.1	3.6	11.0	21.1	22.5	0.5
5月中の活動 (6月調査)	全体	0.8	2.8	0.9	4.6	10.0	31.6	3.2	12.0	23.9	20.8	0.7
	文系	0.7	3.1	1.0	5.2	11.3	34.9	3.1	13.3	24.6	21.7	0.8
	理系	1.0	2.1	0.6	3.4	7.3	24.9	3.6	9.3	22.4	19.0	0.4
6月-5月(全体)の差分		1.6	0.6	0.0	-2.2	-3.8	-9.1	0.2	1.0	0.9	1.2	-0.4

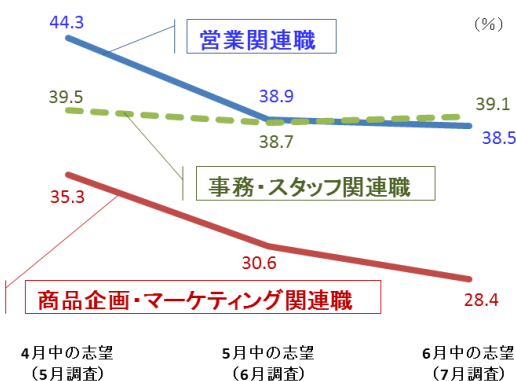
【4】学生の志望状況 … 職種/業種/企業規模

志望する職種

- 6月中の就職活動で、志望していた職種(複数回答)の上位は、「事務・スタッフ関連職」(39.1%)、「営業関連職」(38.5%)、「商品企画・マーケティング関連職」(28.4%)であった。

※下表参照

- 上位3職種の志望者割合推移を、5月調査~7月調査で見ると、「事務・スタッフ関連職」は横ばい、「営業関連職」は5月→6月では下がったがその後横ばい、「商品企画・マーケティング関連職」は減少傾向が見られる。※右グラフ参照



就職活動実施者の志望職種 (%)

※複数回答

	種まだ決まってい	営業関連職	商品企画・マーケティング関連職	事務・スタッフ関連職	流通・サービス関連職	研究・開発関連職	生産・設計関連職	土木・建築・設計関連職	コンピュータ・ウェア関連職	金融スペシャリスト	専門・リスト	クリエイティブ関連職	その他	
6月中の志望 (7月調査)	活動者全体	11.3	38.5	28.4	39.1	12.2	8.0	11.1	2.1	12.2	6.0	11.6	7.0	0.6
	文系	12.0	44.1	31.5	47.2	14.9	1.4	3.6	0.1	8.2	7.1	10.3	7.5	0.9
	理系	9.4	24.9	20.8	19.5	5.6	23.8	29.3	6.9	22.1	3.3	14.7	5.8	0.0
5月中の志望 (6月調査)	活動者全体	10.2	38.9	30.6	38.7	13.8	10.0	13.0	3.0	12.9	5.1	11.2	8.4	1.2
	文系	12.0	46.4	34.6	48.7	17.7	1.8	3.9	0.8	9.2	6.8	9.7	9.9	1.2
	理系	6.4	22.7	21.9	17.4	5.4	27.5	32.3	7.7	20.8	1.6	14.4	5.2	1.1
6月-5月(全体)の差分		1.1	-0.4	-2.2	0.4	-1.6	-2.0	-1.9	-0.9	-0.7	0.9	0.4	-1.4	-0.6

REPORT ② 7月1日時点の就職活動実施者(81.5%)の実態

■ ■ ■ 志望する業種 ■ ■ ■

- 6月中に志望していた業種(複数回答)は、下表のようになった。※上位10業種まで掲載。
- 文系は、「銀行・信用金庫・信用組合・労働金庫」(25.2%)が最も多かった。
- 理系は、「情報サービス・調査業(ソフトウェア・情報処理等)」(21.8%)が最も多かった。

《文系》

※複数回答 ※割合による降順 (10位まで)	就職活動実施者の 志望業種(%)		差分 (ポイント)
	6月中の 志望状況 (7月調査)	5月中の 志望状況 (6月調査)	
銀行・信用金庫・信用組合・労働金庫	25.2	24.8	0.4
商社	18.2	20.7	-2.5
情報サービス・調査業(ソフトウェア・情報処理等)	13.5	13.3	0.2
食品	12.1	15.4	-3.3
鉄道・道路旅客運送・海運・航空・その他の運輸業	11.8	13.1	-1.3
官公庁	10.4	9.4	1.0
まだ志望する業種が決まっていない	10.2	8.8	1.4
生命保険・損害保険	9.8	10.9	-1.1
百貨店・スーパー・コンビニ・DIY・生活協同組合	9.2	10.8	-1.6
専門サービス業(法律事務所・税務事務所等)	8.3	8.2	0.1

《理系》

※複数回答 ※割合による降順 (10位まで)	就職活動実施者の 志望業種(%)		差分 (ポイント)
	6月中の 志望状況 (7月調査)	5月中の 志望状況 (6月調査)	
情報サービス・調査業(ソフトウェア・情報処理等)	21.8	20.8	1.0
食品	18.8	19.9	-1.1
官公庁	16.5	9.0	7.5
医薬品	12.2	12.4	-0.2
商社	11.5	10.4	1.1
医療・福祉	11.0	10.8	0.2
化学	10.9	9.6	1.3
電機・電子・OA関連・精密機器	9.8	12.4	-2.6
建設・工事業	9.7	8.2	1.5
自動車・鉄道・航空機等製造・同部品製造	9.3	9.6	-0.3

■ ■ ■ 志望する企業規模 ■ ■ ■

- 志望していた企業規模(複数回答)は、5月では「100~299人」が最も多かったが、6月は「1000人~4999人」(30.1%)が最も多かった。
- 前月との比較では、「100人~299人」と「300人~499人」が4.0ポイント以上の減少。一方、「1000人~4999人」が、2.6ポイント増加した。

■ 就職活動実施者の 志望する企業規模 (%) ※複数回答

		まだ志望する企業規模が決まっていない							
		50人未満	50人~99人	100人~299人	300人~499人	500人~999人	1000人~4999人	5000人以上	
6月の志望状況 (7月調査)	活動者全体	25.4	7.0	13.0	26.4	24.9	26.9	30.1	18.6
	文系	26.3	6.9	13.0	25.7	24.5	26.0	31.0	16.2
	理系	23.2	7.1	13.0	28.1	25.7	29.1	28.1	24.1
5月の志望状況 (6月調査)	活動者全体	27.2	7.7	12.2	30.5	28.9	28.3	27.5	18.5
	文系	28.2	8.0	13.7	31.8	27.6	27.4	27.9	17.2
	理系	25.0	7.0	9.0	27.9	31.7	30.1	26.6	21.2
6月-5月(全体)の差分		-1.8	-0.7	0.8	-4.1	-4.0	-1.4	2.6	0.1

REPORT ② 7月1日時点の就職活動実施者(81.5%)の実態

【5】学生の志望状況の変化

● 7月1日時点で就職活動を実施している学生に、前月と志望が変わったものを尋ねたところ、34.2%の学生が志望に変化があったと回答した。

志望が変わった,
34.2%

特に変わったものは無い,
65.8%

※下表の7月調査・6月調査の結果は%、差分はポイント

● 変わった内容(複数回答)は、「業種」(13.8%)が最も多く、次いで「職種」(9.8%)「地域」(9.7%)であった。

変化した項目	企業規模	業種	職種	地域	進路	その他
7月調査	8.5	13.8	9.8	9.7	3.1	0.2
6月調査	11.7	14.9	11.4	9.3	2.8	0.9
7月-6月の差分	-3.2	-1.1	-1.6	0.4	0.3	-0.7

● 業種の志望が変わったと回答した学生に、変化の内容を尋ねると、「志望業種を広げた」(65.0%)が多く、前月(59.4%)よりその割合は高かった。

業種の変化	全く異なる業種を志望	志望業種を広げた	志望業種を絞った	こだわらなくなった	その他
7月調査	11.6	65.0	15.9	7.5	-
6月調査	9.8	59.4	23.4	7.1	0.2
7月-6月の差分	1.8	5.6	-7.5	0.4	-0.2

● 企業規模の志望が変わったと回答した学生に、変化の内容を尋ねると、「こだわらなくなった」(27.5%)「大手企業から中小企業へ志望が変化した」(26.9%)とが多かった。前月との比較(差分)では、「中堅⇒大手」「中小⇒大手」の割合が増加した。

規模の変化 ※ ○○から ××へ変化した	大手⇒中小	中堅⇒大手	中堅⇒中小	中小⇒大手	中小⇒中堅	こだわらなくなった	その他
7月調査	26.9	19.0	5.4	9.9	11.3	27.5	-
6月調査	32.4	12.4	9.4	5.3	9.2	29.3	2.1
7月-6月の差分	-5.5	6.6	-4.0	4.6	2.1	-1.8	-2.1

● 職種の志望が変わったと回答した学生に、変化の内容を尋ねると、「志望職種を広げた」(48.5%)が多かったが、その割合は前月(62.4%)より低かった。

職種の変化	全く異なる職種を志望	志望職種を広げた	志望職種を絞った	こだわらなくなった	その他
7月調査	12.1	48.5	29.3	10.0	-
6月調査	7.9	62.4	24.4	5.4	-
7月-6月の差分	4.2	-13.9	4.9	4.6	-

● 勤務地の志望が変わったと回答した学生に、変化の内容を尋ねると、「広げた」(44.9%)、「絞った」(32.5%)ともが多かった。前月との比較(差分)では、「全く異なる地域を志望」(11.3%)が8.7ポイント増加した。

地域の変化	全く異なる地域を志望	志望地域を広げた	志望地域を絞った	こだわらなくなった	その他
7月調査	11.3	44.9	32.5	11.3	-
6月調査	2.6	45.6	36.4	15.4	-
7月-6月の差分	8.7	-0.7	-3.9	-4.1	-

REPORT ② 7月1日時点の就職活動実施者(81.5%)の実態

【6】 学業・就職活動・プライベートが占める時間

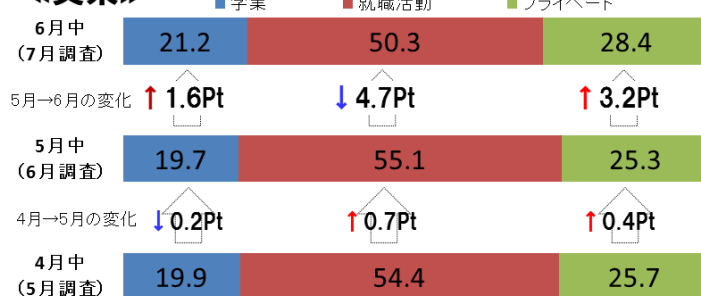
● 6月中の時間を「100」とした場合の「学業／就職活動／プライベート」の割合を尋ねた結果、文系と理系で大きく時間の配分が異なった。

(活動実施者平均)

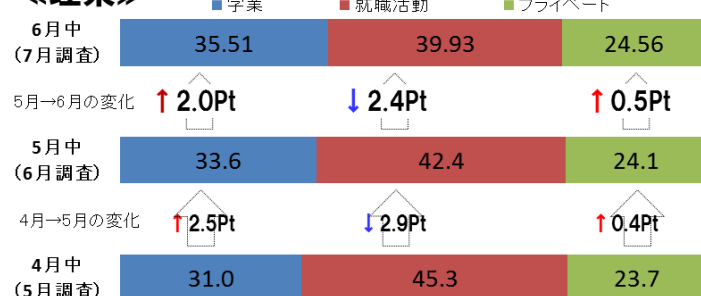
《文系》 「就職活動」が50.3と半数を占めるが、前月からは4.8ポイント減少した。

《理系》 「就職活動」(39.9)は2カ月連続で減少。一方、「学業」(33.5)は2カ月連続で増加した。

《文系》



《理系》



【7】 就職活動への気持ちの高まり(コメント)

● 7月1日時点での就職活動への気持ちの高まりを「0～10」の11段階で学生の尋ねた。以下に、「8～10」と「0～3」を選んだ学生のコメントを紹介する。 ※「2015年7月度 就職内定状況(2016年卒)」【確報版】より抜粋

「8～10」の学生のコメント

- 8月の本番に向け、気持ちが高まってきた。(「8」)
- ESの提出が切が近づいて、本番がもうすぐ来ると実感しつつあるから。(「8」)
- 選考が進む企業も増えたため、気持ちが高まった。また公務員試験の1次試験も始まるため、気持ちが高まった。(「8」)
- 選考がすすんだり、説明会などで実際の社員の方からの話を聞く機会が増えたため。(「9」)
- 第一志望群としていた企業の選考がうまくいかず、一度全て落ちてしまった時期があったが、一度リセットして考え直し、また新たに目標を持って取り組んでいるので、気持ちは高まっていたと思います。(「9」)
- 筆記試験、一次面接、最終面接、内定、とこの1か月で多くの経験をしたから。(「9」)
- まだまだこれからスタートする企業も多くあり、毎日説明会に参加するのがとても楽しいです。参加するたびにここでこう働きたいというワクワクした気持ちになり、頑張ろうという気持ちが高まっています。(「10」)

「0～3」の学生のコメント

- 内々定がひとつ出たものの、第一志望ではないため他にも探そうと思いつつも、やる気が出なくて何もしていないため。(「0」)
- 定期テスト、国家試験対策、卒業研究がいつきのしかかってきてあまり就活していない。(「1」)
- 内定を得たものの納得がいくものではなく、より志望度の高い企業の選考を受け続けたが、全く結果が出なかった。もう就職活動をやめてしまいたい気持ちと今の内定先に満足できない気持ちの板挟みで思い詰めている。(「1」)
- 3月から続けていて少し疲れてきたようで、あまり行動に起こせなかったから。(「3」)

株式会社リクルートキャリア 就職みらい研究所 (<http://data.recruitcareer.co.jp/>) 所長 岡崎 仁美

【本件に関するお問い合わせ先】 株式会社リクルートキャリア コーポレート戦略統括部 社外広報グループ宛 Mail: kouho@waku-2.com